

公開セミナー

対面・オンライン開催



Save the Children

ロヒンギャの子どもたちの教育のいま ～教室からできる小さな国際協力～

©Rubina Hoque Alee/Save the Children

現在、バングラデシュの難民キャンプでは、ミャンマーでの大規模な暴力から逃れてきた118万人を超える少数民族ロヒンギャの人びとが暮らし、その約半数は子どもたちです。2017年のミャンマーでの大規模な暴力から8年半、一人の子どもの小学校入学1年生から中学3年生進級までに相当する年月が経過しています。危機が長期化し国際的な資金援助も減少する中、キャンプ内で育つ子どもたちはいま、どのような環境で学んでいるのでしょうか。アジア最大の人道危機ともいわれながら、その現状について知る機会は限られているロヒンギャ危機。本セミナーでは、当会のバングラデシュ駐在員・田部井梢による最新の現地報告に加え、ロヒンギャ難民キャンプへの訪問経験のある松倉紗野香先生、関愛先生の両氏を交えたディスカッションを通じて、子どもたちの「紛争下の教育」に焦点を当てて考えます。

登壇者



田部井 梢

公益社団法人セーブ・ザ・
チルドレン・ジャパン
海外事業部
バングラデシュ駐在員



松倉 紗野香氏

埼玉県立伊奈学園
中学校 教諭



関 愛氏

高校非常勤講師

プログラム

- ▶ 最新報告:ロヒンギャ危機と子どもたちの教育の現状
- ▶ コメント:現地訪問した教員の立場から
- ▶ ディスカッション①
なぜ紛争下でも教育が必要か
- ▶ セーブ・ザ・チルドレンによる「紛争下の教育」の出前授業に関するご案内
- ▶ ディスカッション②
参加者からの質問を受けて

※時間が許す限り、事前質問や当日参加者からの質問にもお答えします。

日時



2026年3月18日(水)
19:00-20:30

開催形式



対面

セーブ・ザ・チルドレン
・ジャパン東京事務所



オンライン

▶ zoomウェビナー



参加費

無料

参加申込はこちら
(3/18当日17時締め切り)



本テーマに関心のある方。特に教員、教育関係者、学生など。
セーブ・ザ・チルドレンでは、「紛争下の教育」をテーマとした出前授業を行っております。イベント内で授業内容もご案内いたします。
学校・大学等での授業のご参考にしていただきたく、特に教員・教育関係者の皆さまの参加を歓迎いたします。

主催・お問い合わせ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー部
japan.advocacy@savethechildren.org Tel : 03-6859-0015 (平日 9:30-18:00)